

PX8000 プレス機械の波形測定電力評価

インバータ・モーターの電力評価と波形測定を1台で実現

プレス機械は自動車関連部品や自動車ボディなどの生産に使われており、鋼板などの材料を金型で挟み込むことにより加工しています。これらの機械では、センサーレスベクトル制御によってプレス動作の安定性を高めたり、あるいは加圧するときの速度の微調整などができるメリットから、インバータを使うことが増えています。

プレジジョンパワースコープPX8000は、これらの調整による電力変化をより正確にとらえることができます。最大4入力搭載が可能で、プレス時の三相モーター2台分（三相3線結線×2）の電力データや電圧・電流・電力波形を同時測定できるので、開発する機械の品質や性能を評価できます。

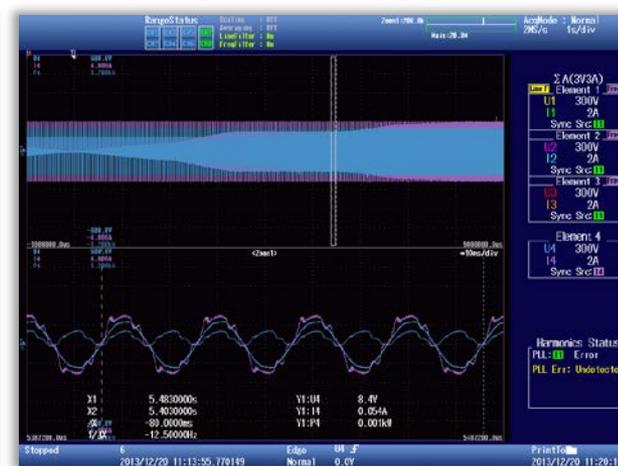


プレジジョンパワースコープ PX8000

電力パラメータと波形の2画面表示



波形観測とズームの2画面表示



波形変化および電力パラメータの変動を確認できます

※自動車業界では、プレス機械の需要も増加傾向と推測されます。